

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学部のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)											
以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。											
1. 優れた教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。 2. 経済学・経営学の専門知識を持つた人材を養成する。 3. 説得力やリテラシーを持った自身の力で課題を見出し、解決する能力をもった人材を養成する。 4. 国際コミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。 5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成する。											
学部のOP(カリキュラム編成方針)											
1.2019年度の入学第1年次には、国際基幹教育院での英語及び語学力の向上に着手するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育カリキュラムは、人材養成目標1に沿った教養を有する人と人材養成目標2に沿った、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに選択できるよう設計されている。履修科目の選択肢は、教養科目と専門科目とに分かれている。専門科目は、各学年で異なる構成となるが、専門性の高い科目群に向けた核心科目を設け、3年次以降につき、専門員による強化指導を受け、専門性の高い科目群における知識をより深く学ぶ。専門知識をより深く学ぶため、コミュニケーションコースではコミュニケーションスキル系科目群およびクローバル系科目群における専門科目の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の間に別て専門分野とより深く接点し、調査研究活動や論文執筆等で取り組む。演習での研究活動を通して、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一例は、専門的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。											
学部のカリキュラム											
科目番号	授業科目名(2019年度入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年	単位	○	△	□	△	○	○
10101	学域GS言語I	The Humanities GS Language Course (H GSL) I aims at development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of basic knowledge and skills which the majored academic discipline requires. This course is closely linked with the H GSL II, focusing more on understanding the discipline of the specific academic field than on its practical application.	Students who have completed the course will have English reading, listening, and grammar competency corresponding TOEIC score range: 550~600.	2	1	○					
10201	学域GS言語II	The Humanities GS Language Course (H GSL) I aims at further development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of more advanced knowledge and skills which the majored academic discipline requires for presentation and essay writing. This course is closely linked with the H GSL I emphasizing the critical analysis of research subjects of the specific academic area.	Students who have completed the course will have English reading, listening, and grammar competency corresponding TOEIC score range: 600~650.	2	1	○					
13501	基礎統計学	経済分析に使われる統計手法の基礎を学習する。	基礎的な統計計算が一通り出来るようになる。	2	2		○			△	
13502	マクロ経済学 I	マクロ経済学を中心として経済学の基礎的な考え方や分析方法を学ぶ。	1. 市場経済の機能と基礎的なマクロ経済理論を体系的に身につけることができる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用し、議論を展開することができる。	2	2		○	○	○	○	
13503	ミクロ経済学 I	市場の仕組みを理解する	ミクロ経済学を学習する上で必要となる諸概念を理解することができるようになる。 1. 需要曲線の概念を理解することができるようになる。 2. 供給曲線の概念を理解することができるようになる。	2	2		○	○	○	○	
13504	Basic Economics A	To learn basic theories on economy.	To know concepts used in the courses of the school of economics.				○				
13601	経済学史	経済思想の形成過程の検証	近代の成立とセットで成立した経済思想を学ぶことにより、近代の意味について考える。	2	2	○			○	○	
13602	日本経済論	現代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する	1. 戦後日本経済の実相を理解できるようになる。 2. 事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2	○	○		△	○	△
13603	経営学概論	経営組織論・経営管理論・経営戦略論の概要とこれらに関連領域における基礎的知識の伝授	経営組織論・経営管理論・経営戦略論とこれらの関連領域における代表的概念と学説、理論的系譜を理解する。				○		○		
13604	Basic Economics B	To learn basic knowledge on economy.	To acquire knowledge prerequisites for the courses of the school of economics.				○				
23001	経済学入門	ミクロ経済学とマクロ経済学を体系的に学ぶための下準備	1. ミクロ経済学やマクロ経済学で使われる基本的な用語の概念を理解する。 2. ミクロ経済学やマクロ経済学を学ぶために最低限必要な数学ツールを習得する。	1	1		○	○			
23002	経営学入門	現代の企業とその経営に関する基本的な知識と基礎理論の紹介	現代の企業がどのように設立され存続し成長するかを理解する。	1	1	○	○				
23003	情報処理	情報化社会の進展に伴い、情報処理能力を高めるために、パソコンを正しくかつ有効に活用することを学ぶ。	1. 情報処理に対する基本的な知識を得ることができる。 2. パソコンの基本操作が可能である。 3. 最適化問題に対する解法ツールが操作できる。	2	1		△		○		○
23100	演習				3	8					
23200	卒業研究				4	2					
23210	海外語学研修A	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	2				○	○	○

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

1. 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
 2. 経済・経営専門知識を持った人材を養成する。
 3. 現代社会に対する正しい問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
 4. 高いコミュニケーション能力（外国語によるもの含む）、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
 5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性をもった人材を養成する。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

学類のカリキュラム

科目番号	授業科目名(2019年度入試)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年 単位	る。	解を深める。	策立案能	たとの基	探し、有益
23211	海外語学研修B	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国语でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2 3			○		う。 力を形成する。
23212	海外語学研修C	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国语でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2 4			○		○ ◎
23220	インターンシップ	就業体験を通して経済学、経営学を実践的に学ぶ	1. 就業の学習と就業体験との結合ができる。 2. ビジネス英語等の社会常識の習得ができる。 3. 就業観の形成ができる。	3 2	○				○ ○
45100	マクロ経済学II	マクロ経済学に関する標準的な考え方や分析方法を体系的に学ぶ。	1. 標準的なマクロ経済理論を体系的に身につけ、それを論理的に説明できる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用できる。	2 2		◎ ◎	○ ○	◎ ○	○ ○
45101	ミクロ経済学 II	不完全競争と市場の失敗について理解する	1. 市場における企業行動の特徴と問題点を理解することができるようになる。 2. 経済政策の考え方を理解することができるようになる。 3. 各種な経済問題を経済学の観点から理解することができるようになる。	2 2		◎ ◎	△	△ ◎	○ ○
45102	政治経済学	資本主義経済の分析にあたって理論的・歴史的(制度論的)・政策的視野をもつべきことを学ぶ。	時代背景をしきり踏まえたうえで、政策的意義や理論的ベースの妥当性を考えることができるようになる。	3 2	○	○		◎ ○	
45103	計量経済学	横断面データを用いた線形回帰分析手法	横断面データを用いた回帰分析手法が理解できるようになる。	3 2		◎			○ ◎
45104	情報科学概論	情報化社会の進展の概要	情報化社会の進展のために、技術、政策、サービスの全体を理解する。	2 2	◎	○			○ ◎ ○
45105	実験経済学	ミクロ経済学の知識を基礎に応用ミクロ経済学を学びます。具体的には、実験経済学の理論と実験手法について学びます。	・経済学の理論を再確認し、実験の手法について理解することができる。 ・実験に積極的に参加し、データ解析について理解することができる。 ・自ら問題意識を持ち、実験計画や解析方法を計画することができる。	3 2	◎ ◎	◎ ◎		◎ ◎	○ ○
45106	都市経済学	ミクロ経済学の知識を基礎に応用ミクロ経済学を学びます。具体的には、都市経済学の理論と実験分析について学びます。	・都市政策や建築の知識を理解して、説明ができる。 ・ミクロ経済学の知識を取得し、都市経済学の考え方や手法を理解することができる。 ・問題意識を持ち、社会の問題をミクロ経済学の理論を応用して理解することができる。	2 2	◎ ◎	◎ ◎		◎ ◎	○ ○
45107	金融論	金融取引の増加は人々の暮らしにどのような影響を与えるのか。金融取引と実物経済の関係を探るための基礎として、経済学を応用した金融取引や金融市場の考え方を講義する。	1. 金融の基本的概念を理解することができる。 2. 会計・企業の金融取引について理解を深める。 3. 金融取引における金融機関や金融制度の役割を理解することができる。	2 2	○	◎ ◎	○ ○	◎ △	○ △ △
45108	財政学	現代財政学の基礎	現代の財政問題と理論的に解明するための基礎を修得する。	2 2	○	○	△		○ ○ ○
45109	公共政策論	財政学の現代的応用	財政のグローバル化など、現代の財政現象を理論的に理解できるようになる。	2 2	○	○	△		○ ○
45110	地方財政論	地方財政の財源・経費の構造の背景にある政策枠組みを理解する	1. 国と地方の機能分担・財源配分の考え方を理解する。 2. 地方財政の歳入・歳出・地方債の構造を知る。 3. 歳出・財源構成の変化の背景にある政策動向を理解する。	2 2	○	△			○ ○ ○
45111	地方財政分析論	自治体財政分析に必要なデータ入手と分析方法を学ぶ	1. 自治体の財政データの入手方法を知る。 2. 歳入・歳出・地方債等のデータ分析手法を学ぶ。 3. 歳出・財源と関連付けて自治体の財政構造を説明できるようになる。	3 2	○	△			○ ○ ○ ○
45112	地域経済学	地域経済学の理論、分析方法、地域政策の歴史	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 地域経済学と地域政策の歴史的な展開を理解する。	2 2	○			○ ○ ○	○ ○ ○
45114	消費生活経済論	生活経済学の方法論	1. 生活経済学の理論的背景が理解できるようになる。 2. 生活環境のあるべき状態を主体的に自己立した社会人となるために必要な知識の体系を身につける。	2 2	○		○ △	○ ◎	○ ○
45115	環境経済論I	環境問題に対する経済学的アプローチの紹介	1. 環境問題に対する社会経済学、社会生態システム論・レジリエンス論のアプローチを理解する。 2. 環境問題に対する諸経済学的アプローチに対し、それぞれの視点の違いの意味を理解し、それほどついてアプローチ間の批判的検討を行なう能力を身につける。	2 1	△		○		○ ○
45116	環境経済論II	環境問題に対する経済学的アプローチの紹介(社会経済学、社会生態システム論・レジリエンス論)	1. 環境政策の底盤を、効率性のみならず規制的・資源的視点の視点で理解する。 2. 環境問題に対する諸経済学的アプローチに対し、視点の違いの意味を理解し、それほどついてアプローチ間の批判的検討を行なう能力を身につける。 3. 環境政策の底盤を、効率性のみならず規制的・資源的視点の視点で理解する。	2 1	△		○	○ ◎	
45117	環境経済政策論I	環境政策の歴史と原理、手法、主な政策の紹介(公害、地球温暖化・エネルギー)	1. 環境政策の意義を、空間的地域的視点から理解できるようになる。 2. さまざまな環境問題の発生と克服の過程を社会経済学的に理解できるようになる。	2 1	△		○		○ ◎
45118	環境経済政策論II	環境政策の歴史と原理、手法、主な政策の紹介(貿易と環境、社会生態システム論)	1. 環境政策の意義を、空間的地域的視点から理解できるようになる。 2. さまざまな環境問題の発生と克服の過程を社会経済学的に理解できるようになる。	2 1	△		○	○ ◎	

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
 - 経済・経営学の専門知識を持つ人材を養成する。
 - 現代社会に対する深い問題意識をもち、自身自分の力での課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
 - 高いコミュニケーション能力（外国語によるもの含む）、プレゼンテーション能力、IF能力を養成する。
 - 地域社会が抱える課題に強い関心をもつ、そこへ積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

第十一章

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
 - 経済・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
 - 現代社会に対する幅広い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
 - 高いコミュニケーション能力(外国語によるもの含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
 - 地域社会が抱える課題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでのる人間性をもった人材を養成する。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

学類のカリキュラム

科目番号	授業科目名(2019年度入試)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年 単位	る。	解を深める。	する。	策立案能 力を養う。	ための基 盤を形成す る。	う。	折し、有益 に活用する 能力を養 う。	力を身につ ける。	
					○	△	○	△	○	△			
45212	国際開発論1E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎	○	◎	◎	△	○	◎	○
45213	国際開発論2E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎	○	◎	◎	△	○	◎	○
45214	アジア経済史AI	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考すること目標とする。	2	1		○	○			○	◎	△
45215	アジア経済史AII	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考すること目標とする。	2	1		○	○			○	◎	△
45216	アジア経済史B I	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解すること目標とする。	2	1		○				○	◎	△
45217	アジア経済史B II	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解すること目標とする。	2	1					○		○	△
45218	日本経済史	近代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する。	1.日本帝国主義を含む戦前日本経済の実相を理解できるようになる。 2.事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2	◎	○			○	△		△
45219	社会言語学	日常的な日本語から日本社会を見る	日本語と日本社会との関連を見る目を養うことを目標とする。	2	2	○							○
45220	対照社会言語学	対応する場面で使用される日本語と外国語を比較する。	日本語と外国語の発想性の異同を分析できるようになる。	2	2	○				○			○
45300	経営管理論	経営管理理論の潮流	企業において経営管理がいかに実践されてきたのか、理論と実践の両面から理解できるようになる。	2	2	◎		◎	○	△	○		
45301	人的資源管理論	日本企業の経営管理	日本企業がどのように経営管理を実践しているのか、その変遷と現状について理解できるようになる。	2	2	◎		◎	○		○	◎	
45302	経営情報論	企業の組織と情報	企業の組織現象を情報に注目して理解する。	2	2	△	◎		○				○
45303	経営戦略論	企業経営と戦略	企業経営における戦略の役割と経営戦略について理解する。	2	2		○	◎					△
45304	マーケティング論	マーケティングの考え方や基礎理論を学ぶ。	企業のマーケティング活動について、基本的な理解ができるようになる。	2	2		◎		◎			◎	○
45305	生産システム論	生産システムの概念を総合的視点から見ながら、次世代へつながる知的生産システムの基礎理論・手法について講義する。	1.生産システムの概念と原理について、理解できるようになる。 2.次世代生産システムの実現のために求められる要件について議論できるようになる。	2	2		○		◎				○
45306	経営工学	生産システムの運営に関する生産管理の考え方や技法について講義した上、その実例を紹介する。	1.生産管理の概念と基礎知識について、理解できるようになる。 2.生産管理の抱えている諸問題を明らかにした上で、その解決のための基本的な考え方や方法論について議論できるようになる。	2	2		○	◎					○
45307	情報分析論	情報(データ)分析の方法論	情報分析のための統計的データ解析に基づいた方法論を学ぶ。	2	2	○	◎					○	◎
45308	簿記会計論	簿記・会計基礎	伝統的複式簿記実践の基本的構造と機能を理解する。	2	2	◎		○					
45309	現代会計論	複式簿記機構に基づく現行会計モデルの記述・分析	複式簿記の応用的知識を身につけるとともに、現行会計モデルの理論的枠組み、構造、特徴、および課題を理解する。	2	2	◎		○					○
45310	財務会計論	財務諸表の構造的理解	会計情報の外部利用者として、財務諸表の情報内容について構造的に理解できるようになる。	2	2	○	◎	△	◎	△			△
45311	財務分析論	財務諸表に基づく経営分析	会計情報の外部利用者として、財務諸表に基づく経営分析が実行できるようになる。	2	2	○	◎	△	◎			○	○

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
 - 経済学・専門知識を持つ人材を養成する。
 - 現実社会に対する強い問題意識をもつ、自身の能力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
 - 高いコミュニケーション能力（外国語によるものも含む）、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
 - 地域社会が抱える問題に強い関心をもつ、そこへ積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

第十一章

科目番号	授業科目名(2019年度入生)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年	単位	○	◎	○	◎	○	△	○	△	△	○	△	△
45312	管理会計論	企業および組織の活動をコントロールするために使われる計数的手段	管理会計が、何によって、誰のために何をするのかということが理解できるようになる。	2	2	○	◎	○	◎								
45313	証券市場論	証券市場論、株式会社論	主要国(オランダ、イギリス、アメリカ、日本)の証券市場創成史、国民経済と証券市場との関連について一通り理解する。	2	2	○	○	○	◎	○	△	○	△	△			
45314	証券論	証券市場論、株式会社論	有価証券(株式、債券)と企業金融について理解を深める。また、発展学習である対象的買収と買収防衛策についても一通り理解する。	2	2	○	○	○	◎	○	△	○	△	△			
45315	コーポレートファイナンス	コーポレート・ファイナンス	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を実習等を通して体系的に身に付けることを目的としている。	2	2			○	○					○			
45316	パーソナルファイナンス	パーソナル・ファイナンス及びポートフォリオ理論	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を理解できるようにする。	2	2			○	○					○			
45317	国際会計論	The basic theory of Accounting	This course is designed for students to understand basic principles of accounting for practical use.	2	2	○	◎		◎							○	
45318	国際経営論	国際経営論の体系的理解	多国籍企業のマネジメントの仕組みを総合的かつ体系的に理解できるようになる。	2	2	○	◎		◎					○		○	
45319	国際マーケティング論	マーケティングの知識を応用する	研究開発から市場までの一連の企業活動を理解し分析できるようになる。	2	2	○	◎	△	◎				○	○	◎	○	
45320	地域マネジメント	地域マネジメントの事例と手法、理論を学ぶ	地域資源の発見、活用、評価という一連のプロセスを理解し分析できるようになる。	2	2	○							◎	○	◎		○